

令和3年度 学校評価報告書

都城市立笛水小中学校

4段階評価【4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

本年度の重点目標	自己評価アンケートの問い	自己評価	自己評価結果の分析・考察	学校関係者評価	学校関係者のコメント
感謝の心を持ち、笛水をほこれる児童生徒の育成	学校は、「教育目標」の実現に努めている。	3.5	学校が楽しいと感じている児童生徒は100%であるが、「やや楽しい」と回答する児童生徒が半数いるため、全員が「とても楽しい」と回答するように努力したい。	4.0	・コロナ禍で学校行事に参加できない中、そば打ちが楽しくできてよかったです。
○確かな学力の定着 ・基礎的・基本的な学力の定着 (個に応じた指導・ICTの活用) ・表現力の育成 (読書活動の充実)	先生たちは、分かりやすくやる気の出る授業を行っている。	3.4	個人差が大きい中で、工夫しながら毎時間の授業に臨むことができた。	3.8	・コロナ禍で学校行事、地域行事が思うようにできない中、稲作作業だけでも行うことができたのはよかったです。子どもたちの笑顔を見ることができうれしい限りでした。 ・コロナ禍の影響で諸行事が中止され、さびしい1年でしたが、コメ作り体験活動のほとんどが実行できたことはよかったです。 ・笛水地域外から通学される特に保護者の方々との交流ができれば、今以上に笛水の良さがわかってもらえると思いますが、コロナの早期終息次第ですね。 ・今後は学校に登校できない児童生徒の対応と対策を考えなければならぬですね。さまざまな問題をかかえた子どもさんが多いですが、がんばりましょう。
	(小) 児童は、漢字や計算などの基礎的な力が付いている。	3.5	教職員の肯定的な評価に対し、児童生徒や保護者の半数は十分ではないと回答している。基礎基本を繰り返し徹底して身に付けさせる必要がある。	3.7	
	(中) 生徒は、学習内容の基礎的・基本的な力が付いている。	3.2			
	先生たちは、ICTを活用した授業を行っている。	3.7	ステップ1を意識し、取り組むことができた。	3.8	
	児童生徒は、進んで読書をしている。	3.2	児童生徒は読書をするようになったと回答しているが、教職員は十分な手立てを講じたとは言えないため評価は低い。	3.5	
○豊かな心の育成 ・社会性の育成 (学校行事・体験活動の工夫) ・不登校0の実現 ○家庭・地域との連携 ・ふるさと教育の充実 ・積極的な情報発信	児童生徒は、学校や地域の行事に積極的に参加している。	3.5	コロナ禍の中で可能な限り行事を実施し、楽しんで取り組む姿が多く見られた。	3.8	
	学校は、児童生徒や保護者の相談に真摯に対応している。	3.6	相談等に真摯に対応するよう努めてきたが、児童生徒や保護者の気持ちに十分寄り添うことができていないこともあった。	3.8	
	学校は、HPや通信等で積極的に情報を伝えている。	3.7	常時HPを更新し情報提供に努めることができたが、学年や学部、学校通信の発行が十分ではなかった。	4.0	